

単元	年組番	7問
四年上 場面の様子に着目して読み、 しょうかいしよう	氏名	
「一つの花」		

○ 教科書の「一つの花」を読んで、次の問題に答えましょう。

1 一つのお話ですか。

(戦争のはげしかったころ)

2 ゆみ子のはっきりおぼえた最初の言葉は、なんとという言葉で、だれの口ぐせでしたか。

言葉 (一つだけちょうだい)
だれの (お母さん)

3 「いったい、大きくなって、どんな子に育つだろう。」というお父さんのせりふには、ゆみ子に対するどんな気持ちがこめられていますか。一つに○をつけましよう。

() ゆみ子がとてもかしいので、じまんしたい気持ち。
(○) ゆみ子がとてもかわいそうで、ふびんに思う気持ち。
() ゆみ子がとても手がかるので、いらいらする気持ち。

4 お父さんが戦争に行く日、お母さんが、ゆみ子におにぎりを食べさせたのは、どうしてでしょう。

(戦争に行くお父さんに、ゆみこの泣き顔を見せたくなかったから。)

5 お父さんは、なぜ、コスモスの花を見つけたときに、あわてて帰ってきたのでしょうか。一つに○をつけましよう。

() 汽車に乗りおくれそうだったから。
() コスモスを取ったら他の人に怒られたから。
(○) ゆみ子にはやくコスモスを見せたかったから。

6 十年後の、ゆみ子の家のコスモスは、どのようにさいっていましたか。

(コスモスの花でいっぱいに包まれていた。)

単元	年組番	4問
四年上 場面の様子に着目して読み、 しょうかいしよう	氏名	
「一つの花」		

○ 教科書の「一つの花」を読んで、次の問題に答えましょう。

1 第一場面で、お母さんは、どんな気持ちでゆみ子に「一つだけー。一つだけー。」と言っていたのでしょうか。

- ・ 本当はたくさんあげたいけど、一つしかなくてごめんねという気持ち。
 - ・ もっと食べ物があれば、ゆみ子にもたくさんあげることができるのに、残念に思う気持ち。
- など。

2 第二場面で、お父さんとお母さんは、ゆみ子のおぼえた「一つだけ」という言葉をどのような思いで聞いているのでしょうか。

- ・ いつもおなかをすかせているゆみ子を、かわいそうに思っている気持ち。
 - ・ ゆみ子がまんぞくすることを知らない大人になってしまふのではと、心配に思っている気持ち。
 - ・ いつかゆみ子におなかいっぱい食べさせてあげたいと願う気持ち。
- など。

3 第二場面で、お父さんがゆみ子にわたした一輪のコスモスの花には、ゆみ子へのどんな思いやねがいがこめられているのでしょうか。

- ・ 花を渡すことで、ゆみ子に少しでも喜びをあげたいと思う気持ち。
 - ・ これからずっとゆみ子に笑顔でいてほしいと願う気持ち。
 - ・ これから先、会えなくなってしまうかもしれないけれど、ゆみ子にはいつまでも元気で、大きく育ってほしいと願う気持ち。
 - ・ 自分のことをずっと覚えていてほしいと思う気持ち。
- など。

4 第三場面で、「一つだけ」という言葉が出てこないのは、なぜでしょう。戦争中と戦争後の場面をくらべて考えましょう。

- ・ 戦争中は、食べ物がなく「一つだけ」といって物をもらう必要があったけれど、戦争が終わり平和になったことで、いろいろな物が手に入るようになり「一つだけ」と言わなくてよくなったから。